

2018年度 事業報告書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

一般社団法人 日本真空工業会（以下、JVIA）は小日向 久治 会長の下で、基本方針である定款第3条の「(JVIAの目的は) 国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」に則って活動を行った。今年度はJVIAの長期ビジョンに基づいて策定される「アクションプラン2018」の最終年に当たる。JVIAの長期ビジョンである「アクションプラン2018」に基づき、「社会的使命」と「会員の利益」の二つを機軸として、JVIAの「存在感のアップ」と「グローバル化」を具現化するべく、理事会、委員長会議、企画委員会、各専門委員会、ならびに関西支部を中心に活動を行った。

1. 2018年度のトピックス

- ・一般社団法人化に伴い臨時社員総会（5月）後に、設立記念行事を開催した。
- ・賛助会員:4社、特別会員:1団体の入会があった。（退会-賛助会員:3社）
- ・教育講座として「真空ウォーキングコース」「真空入門講座」を開催した。
- ・VACUUM2018 真空展をパシフィコ横浜にて開催した。
- ・「環境教育講座」及び「安全教育講座」が関東と関西で単独で開催した。
- ・経済産業省との連携で「中小企業等経営強化法」に関わる証明書発行書業務をした。
- ・若手交流会は関東と関西で開催した。
- ・真空ジャーナル9月号に環境活動報告書2018を盛り込んだ。
- ・サプライヤ交流会を真空展初日にインターコンチネンタルホテルにて実施した。

2. JVIA 活動内容の詳細

1) 関西支部

- ・第32回定時総会・講演会・懇親会 平成30年6月13日(水) 於:大阪新阪急ホテル
総会出席会員数:25社(出席者人数:41名) 書面による参加会員数:28社 計43社でした。総会講演会は核融合研究所 所長 竹入 康彦 様をむかえ
「地上に太陽を創る挑戦～核融合エネルギーの実現を目指して～」
を演題に講演していただいた。聴講者数:55名
続いて懇親会を行なった。参加者数:52名
- ・秋季合同講演会・懇親会 平成30年9月26日(水) 於:アートホテル大阪ベイタワー
秋季合同講演会(公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部との共催)を開催した。
 - ① 大阪府立大学院 工学研究科 松本 章一 教授様より
「未来社会に貢献する高機能高分子材料:異種材料接合から易解体性接着まで」
 - ② 摂南大学 理工学部機械工学科 辻野 良二 元教授様より
「汎用新摩擦接合技術の開発」と題してそれぞれ講演していただいた。
聴講者数:67名、続いて懇親会を行った。参加者数:47名
- ・第49回若手社員交流会 平成30年6月22日(金)
サントリー山崎蒸留所およびニチレイフーズ関西工場を見学し、その後、懇親会を実施した。参加者:25名

第1号議案 2018年度事業報告及び決算報告

- ・支部会 平成30年11月16日（金）・17日（土）
見学場所：①熱田神宮
②トヨタ博物館
宿泊場所：なごや花亭美よし
参加者：14名
- ・見学会 平成31年2月7日（木）
・名古屋城 ・あいち航空ミュージアム／MR Jミュージアム
参加者：24名

2) 企画委員会

- ・サプライヤ交流会が真空展初日の9/5に開催し、参加人数：88名（39社）が参加、サプライヤプレゼン（7社）および懇親会を盛況に行った。
- ・若手交流会（JVIA—EAST）
（春）企業・研究機関の見学会
第25回若手交流会が5/25にサントリー武蔵野ビール工場を見学し、25名の参加者があった。
（秋）会員企業の社員やその家族も参加いただけるレクリエーション行事
第26回若手交流会が10/13に「オータム プレミアムバーベキュー at WILD MAGIC」として開催されました。ベイエリア豊洲のWILDMAGIC The Rainbow Farmにて、ご家族での参加もあり、参加者：23名が和やかに開催した。
- ・身近な真空調査小委員会、
 1. 真空技術を広め会員事業機会拡大につながる活動として、明治製菓を見学した。
 2. 展示会において「真空なんでも相談コーナー」を開設した。
 - ・新価値創造展2018（相談者数：3名）
 - ・真空展2018（相談者数：9名）

3) 教育委員会「真空産業に関する情報の普及および啓発」

- 幅広い産業の基盤技術である真空技術の維持・向上を図る目的で本年度は下記の2件の真空教育講座を実施した。
- ・第24回真空技術基礎講習会「真空ウォーキングコース」が行った。
8/27～8/31（於：工学院大学 八王子キャンパス）受講者数：145名（A,B日程）前年比：119%
 - ・真空展における「はじめて真空」「真空入門講座」の2講座を行った。
9/5～9/7（於：真空展パシフィコ横浜）
「はじめて真空」 受講者数 36名 「真空入門講座」 受講者数 150名（3日間）

4) 出版委員会「真空産業に関する情報の普及および啓発」

- JVIAの活動を広く会員各位および社会に公告するため、下記の広報活動が実施された。
- ・真空ジャーナルは年4回発行（毎回：1200部）
 - ・「チャンパーマン（小冊子）」と「真空常識・非常識」を組み合わせた新しい冊子「これで解決！真空活用！！」を発行（2300部）

第1号議案 2018年度事業報告及び決算報告

5) 規格標準委員会「真空機器に関する規格の立案および標準化の推進」

- ・ ISO/TC112 で取り扱う真空技術に係わる国際規格の整備事業を、公益社団法人 日本表面真空学会と共に「規格標準合同検討委員会」として活動を行った。
- ・ 9/6 に開催された真空展における規格標準報告会は気体放出量の測定方法が国際標準化されたため「気体放出現象」を東京大学 齊藤 芳男 先生に講演していただいた。

受講者数：59名（前年比:173%）

- ・ 日本規格協会の JIS 原案作成公募制度による JIS 原案作成委員会において、真空技術一用語一第3部：真空計及び関連用語を改定すべく上記公募制度の元で活動し、2018年10月22日に発行した。

新たに JIS Z 8752 熱陰極及び冷陰極電離真空計による圧力測定方法と JIS Z 8753 熱伝導真空計による圧力測定方法の改定に向けて活動を開始した。

6) 技術委員会「真空機器に関する技術開発に係わる調査研究」

産業動向の調査検討を行い、真空産業分野の新規事業開拓に関する情報提供を行うために2017～2018年度の技術調査活動「センサと真空技術」をテーマとして、調査が完了し、「センサと真空技術」調査報告会を4月20日（金）に機械振興会館にて開催した。

受講者：15名

7) 統計委員会「真空機器に関する生産・流通・及び保全等の調査研究」

- ・ 2018年度の統計参加会社数は54社で、四半期ごとに受注・売上データを集計し年間で4回プレスリリースを実施した。四半期毎の国際統計事業は日本（JVIA）、欧州（EVTA）、米国（AVEM）の3団体から真空コンポーネント製品の売上データの収集を行った。毎年1回開催される国際統計会議（ISVT）は12月11日に日本で開催し、JVIAからは小日向 JVIA 会長、黒岩 JVIA 担当理事および統計委員長・コンポーネント小委員長、委員と事務局から専務理事・事務局長の7名が参加した。2019年度は、ドイツで11月に開催する予定である。また協賛団体である SEAJ の市場動向セミナーに参加し、統計委員会にて報告を行った。

8) 環境委員会「真空機器に関する環境に係わる調査研究」

- ・ 会員各社に環境活動アンケートを実施し、「環境活動報告書2018」を真空展にて多くの方へ配布する目的で、真空ジャーナル9月号に合併号として掲載した。
- ・ 9/6 に開催された真空展における環境トピックス「初心者向け環境法令 Basic 講座」が講演した。

受講者：29名（前年比:94%）

- ・ 今年度も「環境教育講座」は（一社）日本半導体製造装置協会（SEAJ）環境部会と共催で実施した。

12/7 関東地区（機械振興会館） 受講者数：70名（前年比:137%）

2/22 関西地区（株島津製作所 関西支社）受講者数：30名（前年比:136%）

- ・ 環境委員会プライベートセミナーとして、資源エネルギー庁 長官官房 総務課 戦略企画室 蟹江 優 統括係長をお招きして、「エネルギー基本計画策定後の動向と今後の対応の方向性」と題して講演していただいた。
- ・ 「他業界工場見学」を2/1に実施した。参加者：8名（アサヒビール神奈川工場）

第1号議案 2018年度事業報告及び決算報告

9) CS委員会「真空機器に関する安全に係わる調査研究」

- ・9/6に開催した真空展おけて作業安全教育講座を講演した。受講者：48名（前年比：155%）
- ・2/8 安全教育講座（関西）を開催した。受講者：20名
- ・作業時に使用する治工具の取扱い、管理等 改訂版を掲載した。

10) 展示会委員会「真空産業に関する情報の普及および啓発」

- ・今年度の展示会は、日刊工業新聞社がイベント運営担当を行い、難加工技術展、表面改質展、先進加工プロセス展と併催として、パシフィコ横浜にて9/5～9/7の3日間開催した。
- ・有料出展は81社・団体、133小間（2017年は74社団体、115小間）と規模は微増した。
3日間の入場者は8,623名（2017年は9,654名）と前年度比89.3%であった。
単独開催から共同開催とした真空展は、異なる産業の関連技術が加わることで新たな発見やビジネスチャンスが生まれ、コラボレーションも相まって、新しい形の展示会が定着しつつある。

特別基調講演会は下記3講演が行われた。

- ・9/5『ニュートリノ研究の最前線』聴講者数：101名
講師 中畑 雅行 氏（神岡宇宙素粒子研究所 施設長）
- ・9/6『すばる望遠鏡広視野カメラによるダークマター分布地図の作成』聴講者数：81名
講師 宮崎 聡 氏（国立天文台 先端技術センター 准教授）
- ・9/7『在宅ヘルスマonitoringで未病予防』聴講者数：60名
講師 高井 まどか 氏（東京大学 大学院工学系研究科 教授）
- ・（公社）日本表面真空学会と合同で、真空フォーラム・シンポジウム『AIの産業応用と真空技術の展開』を9/7開催した。聴講者数：70名

11) 事務局

会員会社とのコミュニケーション

会員各位の意見交換の場として、下記の会合を実施した。

定時社員総会、記念講演会、懇親会（H30.5.31 芝パークホテル）

賀詞交歓会（H31.1.18 芝パークホテル）

公益社団法人 日本表面真空学会との協業

- ・規格標準合同検討委員会にてISO/TC112（真空技術）とJIS真空関連規格の作成活動を実施した。
- ・第11回JVSS・JVIAトップ会談を7/20に行った。
- ・第40回VACUUM2018真空展を共同主催で行った。
- ・第16回真空技術者資格認定試験を行った。

内外関係機関等との交流および協力

- ・国内関連諸団体との情報交換やセミナー等の協力共同事業として、11の団体の展示会、講演会に協賛名義許諾の発行を行った。

経済産業省産業機械課との連携

- ・昨年度より開始された「中小企業等経営強化法の経営力向上」に係る証明書発行業務を行い、今年度の発行件数は114件あった。

第1号議案 2018年度事業報告及び決算報告

協賛会員（1年間限定のトライアル会員）

- ・協賛会員：4社－合同会社 第一輸出管理事務所、株式会社コンサス、鈴木機械株式会社、株式会社牧野フライス製作所 の入会があった。

会員勧誘活動の件

- ・下記3展示会にJVIAブースを出展し、JVIA紹介、新規会員募集を行った。

モノづくりマッチング2018 平成30年10月17日～19日

新価値創造展2018 平成30年11月14日～16日

SEMICON Japan 2018 平成30年12月12日～14日

3. 事業報告の附属明細

1) 出版物

- ・「環境活動報告書2018」－環境委員会
- ・「センサと真空技術」技術報告書－技術委員会

2) 会員移動

年度内の会員の移動は以下の通りである。

【会員数】

会員区分	18.3.31 現在	入会	退会	19.3.31 現在
正会員	51	0	0	51 社
賛助会員	50	4	3	51 社
特別会員	9	1	0	10 団体
計	110	5	3	112 社・団体

会員区分	18.3.31 現在	入会	退会	19.3.31 現在
シニア会員	13	0	0	13

【入会】 賛助会員：赤田工業(株)、プランゼージャパン(株)、(株)ニューフレアテクノロジー
東洋ステンレス化工(株)

特別会員：公益財団法人やまぐち産業振興財団

【退会】 賛助会員：タガミシール工業(株)、ランテクニカルサービス(株)、(株)中村製作所

※事業報告書の内容を補足すべき重要事項はありませんので附属明細書は作成しない。

以上